

新規事業採択時評価

【河川事業】

(補助事業等)

➤ 石神井川大規模特定河川事業	・・・・・・・・・・	1
-----------------	------------	---

事業名 (箇所名)	石神井川大規模特定河川事業			担当課	水管理・国土保全局治水課			事業 主体	東京都			
				担当課長名	笠井 雅広			評価 年度	令和6年度			
実施箇所	東京都西東京市南町地内～武蔵野市八幡町地内											
主な事業 の諸元	地下トンネル式調節池(延長:約1.9km、内径:14.3m、貯留量:293,000m ³)一式											
事業期間	事業採択	令和6年度	完了	令和17年度								
総事業費 (億円)	1,310											
目的・必要 性	<解決すべき課題・背景> ・石神井川は、高度に市街化された地区を流下しており、ひとたび氾濫を起こすと甚大な被害を伴う。 ・当該地区において、昭和51年9月の台風17号で、時間最大65mm豪雨により、甚大な浸水被害が生じている。 ・また平成17年9月の集中豪雨による出水においても、当該河川下流部において浸水被害が生じている。 ・このため、石神井川上流地下調節池の整備を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。 <達成すべき目標> ・時間75mmの降雨により生じる洪水を安全に流下させる。 <政策体系上の位置付け> ・政策目標: 水害等災害による浸水被害の軽減。 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する。											
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数:451世帯 年平均浸水軽減面積:7.3ha											
事業全体 の投資効 率性	基準年度		令和6年度									
	B:総便益 (億円)	1,204	C:総費用(億円)	1084	全体B/C (社会的割引率2%) (社会的割引率1%)	1.1 (1.7) (2.1)	B-C	119	EIRR (%)	4.5		
感度分析	残事業費 (+10%～-10%) B/C(1.0～1.2) 残工期 (+10%～-10%) B/C(1.1～1.1) 資産 (-10%～+10%) B/C(1.0～1.2)											
事業の効 果等	事業実施により、他の調節池や護岸整備と合わせて時間75mmの降雨により生じる洪水を安全に流下させることができる。											
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 学識者等による第三者から構成される河川整備計画策定専門家委員会を開催し、当該事業の費用便益比等について確認を受けた。											

石神井川 大規模特定河川事業 位置図

